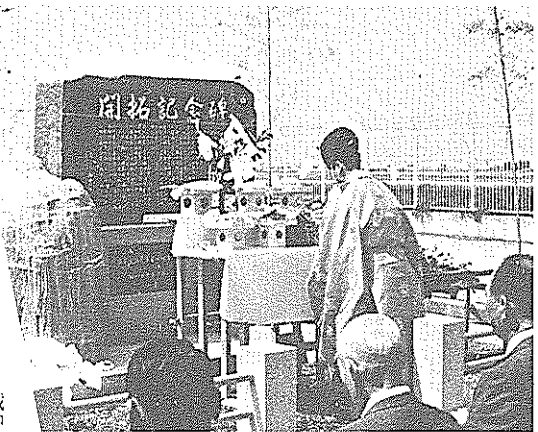


開拓の歴史刻む

日章開拓農協

記念碑と広場が完成



約百人が出席した記念碑の除幕式

戦中、戦後と二度にわたって農地を手放さなければならなかった日章開拓農協の苦難の歴史を刻んだ「開拓記念碑」が久枝の高知空港わきに完成。五月二十一日、関係者約百人が出席して除幕式が行われました。

戦前、この辺り一帯は美田が広がっていました。昭和十六年に海軍が農地を強制的に買収して、航空隊の基地を建設しました。その後、終戦を迎え、滑走路や兵舎跡を除いた約百二十畝が元の地権者、耕作者に払い下げられ、かつての美田を再興しようと昭和二十一年に香南農地開拓組合（日章、前浜両農地開拓組合）を組織し、農道や水路の整備、農地配分などに取り組みました。（その後、日章農地開拓組合は四十四年に日章



みんなが憩える記念広場（公園）も完成

開拓農協と改称。しかし、昭和五十年に再び空港拡張のため、農地を売却することを決めて解散しました。

記念碑は、苦しい開拓の歴史を後世に残そうと造ったもので、台座も含め高さ約二メートル、本体の黒御影石には当時の開拓の状況が刻まれています。

また、記念碑から西側に二百メートル離れた場所には、二千二百四十平方メートルの記念広場が完成。その落成式も行われました。事業費は市や久枝土地改良区の協力も含め二千八百四十四万円で、遊具や休憩所も備え、子供も老人も憩える公園になっています。

落成式では、山本園建設委員長が経過を報告。その後、市に記念広場の目録を贈呈、もち投げも行われ、みんなで完成を祝いました。

大篠小Bが優勝

火鎮祭の相撲大会

恒例の火鎮祭相撲大会が五月十九日、市立相撲場で開かれ、あいにくの雨でしたが大勢の相撲ファンが訪れました。

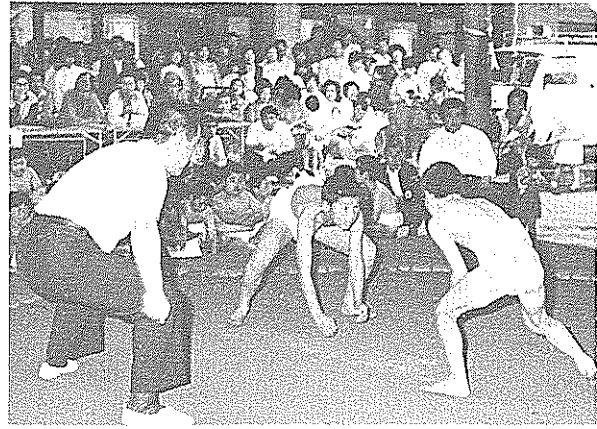
午前の県中学選手権大会に続き、七チームが参加した消防署対抗相撲では、南国消防署（藤岡、岡田、坂本）が団体優勝。個人でも同消防署の岡田直人さんが、見事優勝を果たしました。

そして最後は、市内八小学校から約百人の豆力土が参加したわんぱく相撲。お父さん、お母さんも応援に訪れ、土俵に盛んな声援が飛んでいました。

なお、わんぱく相撲の結果は次の通りです。

団体①大篠小B（則岡定宏、川村英、小川智弘）②大篠小A（西川雄也、徳田良太郎、小原直城）③長岡小A（永田昌稔、溝淵将弘、安田卓弘）

個人①四年の部①永田昌稔（長岡小）②則岡定宏（大篠小）③大西秀明（大篠小、五年の部）④池森剛（稲生小）⑤大前寛直（稲生小）⑥鍋島久也（十市小）、⑦六年の部①安田卓弘（長岡小）②奴田原満也（大篠小）③小川智弘（大篠小）



熱戦を展開したわんぱく相撲